

『ちょっとまねしてみませんか』

保育参観、連携検討会の実践

6月30日

花巻ささま幼稚園（5歳児担任、副担任、園長）、 笹間第一小学校（教務主任、第1学年担任）
笹間第二小学校（第1・2学年複式学級担任）、 太田小学校（第1学年担任）

☆ **活動内容** ☆ 朝の会から時計製作までの保育、子どもの姿を小学校の先生方に参観して頂く。参観後、今日の保育を踏まえながら、経験内容一つひとつがどのように小学校の接続につながっていくのか、又、今後の連携、交流についてを検討する時間を設ける。

☆ 経過 ☆

活動の流れ	連携内容の視点
幼稚園、小学校連携保育参観 9：30～9：45 保育室にて 朝の会、歌、いきいき遊び	・保育室の環境（個人机、椅子、道具等）の見学 ※ 保育中は園長が小学校の先生方に対応し、説明をしていく。 ・一人一人の意欲を高め、態度を意識する保育の実践の参観 （日々の生活の中で話をしている人の方を見ること、最後までしっかり話を聞くこと、指示があってから取り組み始めることを心掛ける） ・楽しみながら子ども達の脳にたくさんの刺激をあげさせる活動（いきいき遊び）の参観
9：50～10：30 ホール、廊下、デッキにて 時計製作	◎様々な素材の材料や道具を使いながら、自分なりに工夫をして時計製作をする。 ◎友だちが工夫したところや作った物に刺激を受けたり、取り入れたりする。 ◎遊びを通して時計の数字や数に興味をもつ。 上記3つのねらいに沿って展開する保育、子どもの姿の参観。 ・一人ひとりの取り組み状況や進度に合わせ、次の活動へも展開。
10：45～11：15 職員室にて 連携検討会	ねらいや保育の経験内容一つひとつがどのように小学校への接続につながっていくのか検討する。今後の連携交流について検討する。

☆ 参観後、小学校の先生方と一緒に連携検討会 ☆

<小学校の先生方から頂いた感想>

- ・40分の製作活動中にどの子も手を止めることなく夢中で、意欲的である。一人一人の発想や発達段階は違うが、自分なりの目的をもって一生懸命に取り組む姿が印象的であった。そのくらい夢中になれる経験（遊び）が、「小学校へつながる学び」に生きていることを実感した。
- ・じっくりと試したい子もいれば自分で次々と進み、作り終えてしまう子もいる。出来上がったなら終わりなのではなく、「これが終わったらこのような楽しみがある」という次への活動も準備されていたことで、早く出来上がってしまった子も、次から次へと期待をもって主体的に動いていた。小学校でも支援が必要な子に関わっている間、終わってしまった子は待っている時間を過ごすことが多い。教師の配慮で子ども一人ひとりの能力をさらに引き出す取り組みができることを実感した。
- ・保育者が子どもに対して指示をする時に、次への見通しを意識した言葉掛けをしていた。「ホールへ移動したら男の子と女の子が分かれて2列に座って待っていて下さい」等、見通しをもった声掛けをすることは、移動してから指示するよりも説明時間の短縮ができ、更には子ども達の理解度も高まった。そのことが活動時間をたっぷりと確保出来たことにつながったのだろう。

☆ 考察 ☆

- ・保育参観後に連携検討会を行ったことで、今日のねらいを踏まえた共通の話題で話し合いをすることが出来た。今後も幼児が主体性を十分に発揮して遊べるような「環境を通して行う教育」の大切さをさらに発信していく必要がある。
- ・3校の小学校の先生方と交流出来たことで、各小学校（当園からの大部分が就学する小学校、当園から数名が就学する複式学級の小学校、当園から数名が就学する小学校）の環境の違いを把握していくと共に、共通する部分も知ることができた。
- ・今回の連携を生かし、各小学校の行事等に当園の年長児が足を運ぶ機会を作ったり、出来る範囲で来年度に交流等をつなげたりする方向へ話し合いを進めることが出来た。又、参観以外でも、お互いの子ども達の姿やねらいを把握できるように、園便りやクラス便りを交換することとした（連携検討会後から実施）。